

# わおん 通信

2024  
vol.53



## CONTENTS

P1 - P2

脱炭素社会実現に向けた情報取得のヒントを知る  
伊都・橋本地域協議会総会で3Rの現状を学ぶ  
企業とともにクリーン活動 ホンダとのコラボ開催  
バイオマス発電所見学で再生可能エネルギーの現状を学ぶ

P3

県情報  
第23回わかやま環境賞の受賞者が決まりました！  
和歌山県太陽光発電設備・蓄電池等導入支援事業補助金の募集について



P4

INFORMATION

## 脱炭素社会実現に向けた 情報取得のヒントを知る

2024年4月20日  
紀の川市地球温暖化対策協議会  
紀の川市商工会議所



令和6年度の通常総会を開催しました。和歌山県地球温暖化防止活動推進員をはじめ総勢25名が出席のもと、昨年度の実績報告と今年度の事業方針について中川皓次代表から説明を行いました。これまでも地域の環境教育への支援を行って来たところですが、今年度も引き続き方針の活動内容に盛り込みま

した。また、新たに加わる役員の紹介を行い、協議会としてより充実した活動を展開していくことを表明し、出席者全員の承認を得て総会は終了しました。「脱炭素社会に向けたとりくみ」と題した、中島和歌山県地球温暖化防止活動推進センター長による講演では、社会的な実装に向けて、どのような情報収集が必要とされるか、具体的な例を示しながら説明がありました。個人も企業も、工夫が求められる中、協議会として引き続き活動を進めてまいります。

## 伊都・橋本地域協議会総会で 3Rの現状を学ぶ

2024年5月12日  
伊都・橋本地球温暖化対策協議会  
橋本市教育文化会館



第16回目となる、伊都・橋本地球温暖化対策協議会定時総会が、会員を含め13名の参加のもと開催いたしました。昨年度は、多くの市民の皆様に参加いただき、食品ロス問題に着目した「もったいないキッチン」の映画上映や料理教室の開催、定例の「こどもエコチャレンジ教室」の開催や自治体イベントへの出展を行ったことについて報告しました。今年度は、「食品ロス問題」について継続して取り組むことに加え、「3R（リデュース、リユース、リ



中島センター長による環境講演の様子



総会の様子

サイクル)」の活動に重点的に取り組む計画が承認されました。総会後には、エコネット紀中の会長で、リサイクルの会社に長年勤務されていた榎村健さんを招き、「3Rの現状」

についての勉強会を開催しました。そして最後に、今年度の重点取り組みについての意見交換を行いました。今後も協議会の活動を通じて、「地球温暖化」に危機感をもつ方を一人でも増やしていきたいと考えています。

## 企業とともにクリーン活動 ホンダ主催イベントに協力

2024年6月16日  
県センター（NPO法人わかやま環境ネットワーク）  
片男波海水浴場

日差しいっぱいの中で、和歌山県ホンダ会が主催の「ビーチクリーンピクニックin片男波海水浴場」が開催され、当ネットワークも参加しました。この活動にエコ・ファースト認定企業の(株)タカショーデジテックの従業員と家族の皆様を含め総勢100名以上の方が集まり、和歌山県地球温暖化防止活動推進員も3名参加しました。

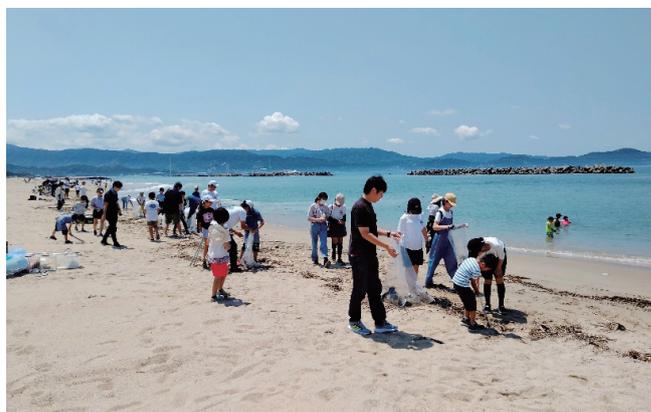
活動開始に際して「和歌浦つ子エコエコクラブ」（和歌山市立和歌浦小学校3～6年生）によるマイクロプラスチックについての紙芝居に続き、歌やダンスの発表がありました。その後全員でビーチの清掃を行いました。わずか30分ほどで45Lサイズのごみ袋15袋が満杯になりました。

最後に砂浜の中のごみをすくい取ってきれいにするホンダの全地形走行車「Hondaビーチクリーナー」による清掃の様子を見学しました。参加していた児童の1人は「熊手のようなもので、砂浜の中に埋まっているごみも回収できるところが魅力的だった。」と言っていました。

ホンダのこの取組は来年も引き続き行



ビーチクリーナーの実演



一齊にごみを拾っていく参加者

われると聞いています。お近くで開催の際は、ぜひご参加ください。

## バイオマス発電所見学で 再生可能エネルギーの現状を学ぶ

2024年7月9日  
伊都・橋本地球温暖化対策協議会  
相生バイオマス発電所

伊都・橋本地球温暖化対策協議会では、日本最大のバイオマス発電所である「相生バイオマス発電所」の見学会を開催し、再生可能エネルギーの現状について学びました。この発電所は、発電出力20万kWで、一般家庭の約43万世帯分の年間使用量相当を発電し、年間で約55万tのCO2削減が見込まれています。事務所で発電所の概要説明を受けたあと、バスに乗って施設内の木質ペレットを受入れる設備や、ペレットを微粉にするミルという設備、タービンや発電機、運転管理を行う中央制御室を見学しました。

さらに船で運搬してきたペレットがサイロへ貯蔵される工程を見学することができたことは貴重な経験になりました。また見学後の懇談は、質問が飛びかう等有意義な時間となりました。日本では、カーボンニュートラルに向け今後さらなる再生可能エネルギーが必要とされていますが、当発電所で20万kWの発電を行うため、木質ペレットアメリカから輸入していると聞き、大規模なバイオマス発電所の難しさを学んだ見学会となりました。



相生発電所構内の様子

# 第23回わかやま環境賞の受賞者が決まりました！

県では、平成14年度に「わかやま環境賞」を創設し、毎年、県内において優れた環境保全活動を行う個人または団体を表彰しています。

表彰を通じて、受賞者の活動事例を広く紹介することにより、県民の皆さんの環境保全に関する意識向上と環境保全に関する行動の促進を図ることを目的としています。

6月5日に県庁で表彰式が行われ、知事から受賞者へ表彰状と盾が授与されました。

今回受賞された皆様の活動内容は以下の通りです。



表彰式の様子

## 受賞者（順不同）

賞	受賞者	市町村	活動の名称と内容
わかやま環境大賞	和歌山県立 熊野高等学校 Kumano サポーターズリーダー	上富田町	<b>廃棄傘をアップサイクルしたエシカルAEDシートの開発・普及活動</b> 環境保全のため廃棄傘を活用し、プライバシー保護を目的としたAEDシートを開発するとともに、関連団体と協力しその普及にも努めている。
わかやま環境賞	株式会社 島精機製作所	和歌山市	<b>紙パックを原料とした再生紙の糸開発・普及</b> 紙パック等のリサイクル紙を原料とした糸の開発やそれを用いた製品の普及を通じてリサイクル率の向上に取り組んでいる。
	和歌山県立 向陽高等学校理学部	和歌山市	<b>紀の川下流における水生生物調査研究</b> 紀の川下流域の環境保全の一助とすべく大規模な水生生物相の生態調査研究に取り組んでいる。
	和歌山大学教育学部 附属小学校3年B組	和歌山市	<b>3年B組、世界に一つのSDGs～SOBA・DOUBUTU・GOMI～</b> SDGs活動として自然栽培・動物の飼育体験・地域の清掃に励み、その成果を学校の枠を超えて発信する等環境保全活動に取り組んでいる。
特別賞	和歌山県立 南紀はまゆう支援学校	上富田町	<b>自分たちの地域のゴミ問題</b> 観光地のゴミ問題について学び実際に地域で清掃活動に取り組んでいる。

「第23回わかやま環境賞」(和歌山県)

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/wakayamakankyosho/23060605.html>



「わかやま環境賞」の概要(和歌山県)

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/award/index.html>



## 和歌山県太陽光発電設備・蓄電池等導入支援事業補助金の募集について

再生可能エネルギーの導入及び省エネルギー化の促進により本県における脱炭素化を図ることを目的として、太陽光発電設備・蓄電池等を設置する個人や事業者に対し、必要な経費の一部を補助します。

詳細は、下記ホームページでご確認ください。

和歌山県ホームページ

「和歌山県太陽光発電設備・蓄電池等導入支援事業補助金」

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/taiyoukouhojyo.html>



2050年  
カーボンニュートラルわかやま



和歌山県



## イベント情報

## 第21期 和歌山県地球温暖化防止活動推進員養成講座

## ◆開催スケジュール

1. 紀の川市会場 日時：2024年8月24日(土) 10:50～16:00 ※終了しました  
場所：紀の川市商工会議所打田支所 [紀の川市西大井350-1]
2. 田辺市会場 日時：2024年10月27日(日) 10:50～16:00  
場所：紀南文化会館4F研修室 [田辺市新屋敷町1]
3. 和歌山市会場 日時：2025年1月19日(日) 10:50～16:00  
場所：会場確定次第、県センターWEBサイトにて案内



詳細・申込は  
2次元コードから

## ◆対象・料金・定員

対象：和歌山県地球温暖化防止活動推進員の方／地球温暖化・気候変動に関心のある方

参加費：無料 定員：30名(各回)

## 県センター／推進員グループ活動スケジュール

## 第36回弁慶まつり

10月5日(土) 10:00～15:00

扇ヶ浜公園カッパーク [田辺市扇ヶ浜2番25]

出展：紀南地域地球温暖化対策協議会／県センター

## SDGsはしもと環境フェア

10月20日(日) 9:30～12:00

橋本市サカイキャニング産業文化会館「アザレア」

出展：伊都・橋本地球温暖化対策協議会

## すこやか橋本 まなびの日

11月10日(日) 9:30～14:30

和歌山県立橋本体育館 [橋本市北馬場455]

出展：伊都・橋本地球温暖化対策協議会

おもしろ環境まつり2024  
開催決定

日時：2024年12月8日(日) 11:00～15:00

場所：みその商店街(和歌山市美園5丁目)

出展者、協賛、ボランティアスタッフ募集

詳しくは公式サイトまで

<https://omokan.net>



## 県センター通信

「デコ活」始めていますか。デコ活とは2030年度のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度から46%削減することや、2050年までにカーボンニュートラル(実質排出量ゼロ)を目指すために、脱炭素につながる豊かなライフスタイルをつくる国民運動のことで2023年からスタートしています。これは、CO<sub>2</sub>を減らす脱炭素化[デ・カーボナイゼーション]の頭文字の「デ」+エコ[Eco]の「コ」+暮らし[生活]を組み合わせた新しい言葉です。ダイエットに例えられるようなガマンのエコ対策は、なかなか長続きが難しいですね。デコ活を推奨する環境省のHPには、具体的な提案として、リフォームや設備更新に併せた窓の断熱や高効率の給湯器の導入、テレワークを取り入れた働き方のシフト、食品ロス対策やコンポスト導入によるごみ処理時のエネルギー消費の削減等、それぞれのライフスタイルに合わせた取組内容が掲載されています。県センターは「デコ活ローカル」として、家や店舗の断熱、コンポストの普及、県内イベントのリユース食器やマイ食器の導入促進を呼びかけています。

詳しい情報は、県センターのWEBサイトをご覧ください。また、わかやま環境ネットワークのLINE公式アカウントを友達追加してご確認ください。

@158kpm



2024 vol.53



発行／和歌山県脱炭素政策課  
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1  
TEL:073-441-2674 FAX:073-433-3590  
mail: e0320003@pref.wakayama.lg.jp

編集・お問い合わせ／和歌山県地球温暖化防止活動推進センター  
〒641-0014 和歌山市毛見996-2  
TEL:073-499-4734 FAX:073-499-4752  
mail: wenet@wenet.info